

# みさと 市議会だより



No. 193

2023年5月15日号

年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の  
迎賓の  
玄関



住み心地が良いまち三郷にコミニズク飛来(江戸川河川敷)

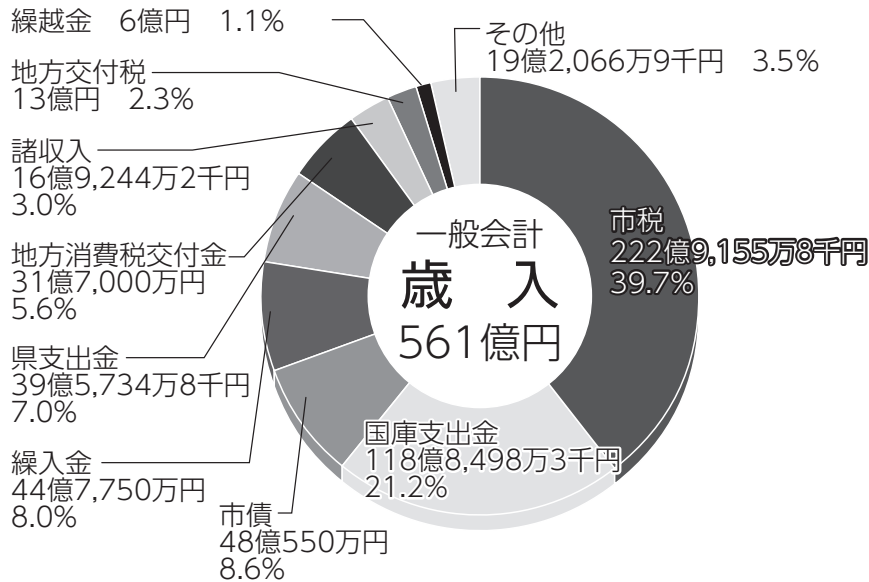
## 主な内容

### 令和5年3月定例会

- ・ 令和5年度予算を審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ・ 論点「東埼玉消防指令業務共同運用協議会を設置」・・・ 6
- ・ 市政に対する一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ・ 3月定例会提出議案とその結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- ・ 議会あれこれ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- ・ 国・政府に要望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ・ 読者の声・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

# 令和5年度予算を審査

3月定例会では、令和5年度の三郷市のまちづくりの基本となる予算を審議し、可決しました。一般会計予算は、前年度に比べ9億円(1.6%)の増額となる561億円で、予算規模として過去最高となり、16年連続で前年度予算を上回るものとなりました。



歳入区分	説明
市 税	市民税、固定資産税など
国 庫 支 出 金	市が行う特定の事業に対して国から交付されるお金
市 債	公共施設の整備などを行うために、市が長期にわたって借りるお金
県 支 出 金	市が行う特定の事業に対して県から交付されるお金
繰 入 金	基金から一般会計に繰り入れるお金
地方消費税交付金	地方消費税のうち、三郷市分として交付されるお金
諸 収 入	学校給食納付金、有価物等売却代など
地 方 交 付 税	地方公共団体相互間の過不足を調整するため、財政状況に応じて国から交付されるお金
繰 越 金	令和4年度一般会計から繰り越されるお金
そ の 他	分担金、負担金、使用料、手数料、地方譲与税など

## 令和5年度の主な事業 ③つの柱 重点施策

### ○持続可能な拠点の形成 ~まちづくりは道づくり~

- ・市の南部地域に防災やコミュニティ機能を備えた施設を整備
- ・三郷流山橋開通式典の協力、プレイベントの開催、橋の開通を記念した花火の実施
- ・ゼロカーボンシティ推進に向けた電気自動車等普及促進のための補助金の新設
- ・三郷中央駅周辺地区リニューアル
- ・三郷料金所スマートICフルインター化に向けた工事、周辺まちづくり基本構想策定

### ○多様性のある地域の確立 ~地域コミュニティの充実~

- ・各種申請書の自動作成等が可能となるスマート窓口の導入
- ・「日本一の読書のまち」宣言10周年を記念した講座・講演会の開催
- ・高齢者施設や小中学校への図書貸し出し促進及びふれあいブックワゴンの追加導入
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の準備
- ・ふるさと納税に対する魅力ある返礼品の拡充
- ・第3種公認を取得した陸上競技場の駐車場未舗装箇所の整備

### ○質の高い教育と切れ目ない子育て支援の強化 ~子どもたちの成長を見守る・夢を育む~

- ・こども医療費の助成対象を18歳まで引き上げ
- ・日々の食事が十分でない児童への配食
- ・小・中学校給食費物価高騰支援
- ・(仮称)瑞沼学校給食センターの整備
- ・地区センターなど10か所に授乳室を設置

# 令和5年度 施政方針

更に魅力あふれるまちへ  
ふるさと三郷  
みんながほほえむまちづくり



三郷市長 木津 雅晟

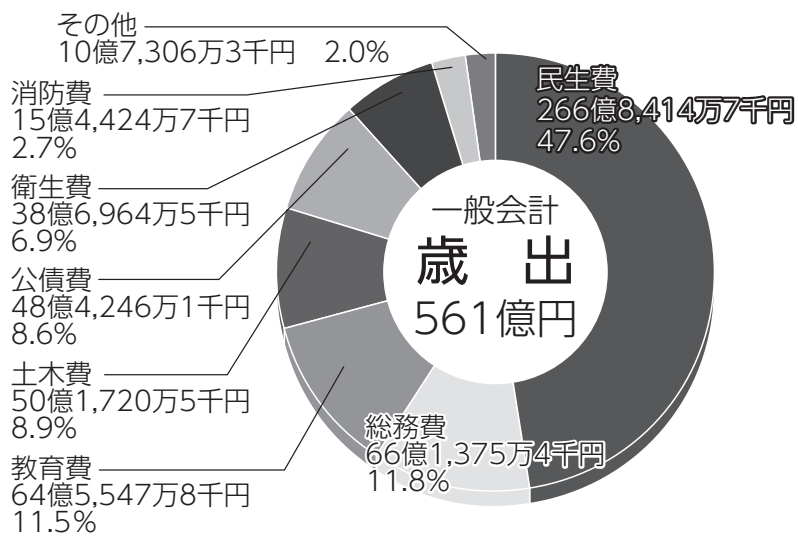
市制施行50周年を迎えた昨年は、議員の皆様、並びに市民の皆様をはじめ、多くのかたがたにご協力を賜りながら記念事業を実施し、節目の年を盛り上げるとともに、三郷をさらに魅力あふれるまちにしたいとの思いを多くの皆様と共有できましたことは感謝の念に堪えないところでございます。

一方、社会情勢に目を向けますと、少子高齢化の進展、自然災害の激甚化、物価高騰、長引くコロナ禍など、市民生活や事業活動を脅かす事象が数多く存在し、予断を許さない状況が続いております。

新年度におきましても皆様にご理解を賜りながら、社会の変化に的確に対応していくための施策を積極的に展開するとともに、市のさらなる発展に向け『ふるさと三郷みんながほほえむまちづくり』を推進してまいります。

(抜粋)

※3月定例会初日に市長から施政方針の表明がありました。



歳出区分	説明
民生費	高齢者、児童、障がい者などの福祉全般の事業に使うお金
総務費	住民票の交付、市税の課税徴収、選挙など市の総括的な事務に使うお金
土木費	道路や河川、公園整備などに使うお金
公債費	市債を返済するために使うお金
衛生費	ごみの収集や予防接種など健康で衛生的な生活のために使うお金
教育費	学校運営の費用や体育施設の管理運営などに使うお金
消防費	消火・救急活動などに使うお金
その他	議会費、商工費、労働費など

令和5年度

## 特別会計予算

5つの特別会計予算は、各常任委員会で審査し、本会議において可決しました。

### 【特別会計別予算一覧表】

区分別		予算額
国民健康保険	歳入歳出	130億3,124万1千円
介護保険	歳入歳出	112億3,094万5千円
後期高齢者医療	歳入歳出	20億6,479万4千円
上水道事業*	収入	31億3,410万4千円
	支出	40億6,392万6千円
公共下水道事業*	収入	56億798万円1千円
	支出	66億1,720万4千円

※上下水道事業は収益的支出(維持管理など)と資本的支出(建設改良など)の合計額です。

# 常任委員会の審査概要

## (一) 一般会計

議案をくわしく審査するために開かれた、各常任委員会での令和5年度予算に関する質疑・討論の要旨をお知らせします。

### スマート窓口の設置

《総務常任委員会》

滞納繰越分・市民税個人、前年度比滞納繰越額の減については、現在、現年度分を優先し積極的に納税勧奨を行っており滞納繰越分を減らしている。そのほか納税が困難なかの滞納処分執行停止を適正に行っていることから減になっている。

基幹業務システム管理業務については、スマート窓口の設置を夏ごろに予定している。マイナンバーカードや運転免許証をお持ちでないかたは、職員が対面で聴き取り、代わりにシステム入力するなど柔軟な対応を行う。

南部地域拠点防災コミュニ

二ティ施設については、自家発電機を設置して、長期の停電にも耐えうる施設として計画している。また、環境に配慮した取り組みとして、屋上に太陽光発電パネルを設置する予定であるとのことでした。

そのほか、男女共同参画促進事業、シティセールス推進事業、自主防災組織活動推進事業などについて審議しました。

討論として、「新型コロナ

ウイルス感染症の特例による支援金等の縮減が見受けられ、物価高騰や燃料費などの値上げに苦しむ市民の暮らしを応援する積極的な施策が一部に留まっていることから反対がありました。



スマート窓口でより便利に

### より魅力的なスポーツ教室開催に向けて

《市民福祉常任委員会》

スポーツ教室事業について、令和4年1月13日、JOC(日本オリンピック委員会)と三郷市間で「パートナー都市協定」を結んだことから、日本オリンピックピアンズ協会を通してオリンピックに来ていただき、今まで市では実施していないような競技等のスポーツ教室を開催する機会を設けたいと考えている。

相談支援事業について、市内2か所の障がい福祉相談支援事業所に、基幹相談支援センターとしての機能をも

たせ、体制を整備していく。既に整備済の権利擁護・虐待防止、三郷市障がい者地域生活支援協議会の運営に加え、相談支援体制の充実、計画相談支援事業所間の連携強化に向けての専門的指導や助言等の事業を行う。

見守り配食サービス事業について、様々な理由により日々の食事に欠ける児童等を対象とすることを想定しており、児童福祉部門だけでなく、児童福祉部門だけではなく、関係機関等に情報の提供を求めていく。また、配食だ

けではなく、モニタリングを実施して、適切な福祉サービスに繋げる等、根本的な解決を目指していきたいと考えているとのことでした。

そのほか、陸上競技場運営管理事業、宿泊型産後ケア事業、生活保護事務(経理・管理)などについて審議しました。

討論として、「昨年度に比べて衛生費が減額されているが、医療機関や福祉施設等のために、更なる予算確保が必要ため反対」などがありました。



江戸川河川敷で開催されたサイクリング教室

**本庁舎1階に「おくやみコーナー」を新設**

《文教経済常任委員会》

市民課事務事業の「おくやみコーナー」では、事前に遺族のかたへ必要となる書類等のご案内を行うことで、手続きのために来庁する市民の負担を軽減できることから、予約制とした。

教職員健康管理事業では、「部活動地域移行検討準備委員会」を立ち上げ、中学校長会代表や中学校体育連盟関係者等が参加し、国や県、近隣の動向を注視しながら、中学校の部活動地域移行について検討を進めている。

図書館施設管理業務における大規模改修中の早稲田図書館では「癒しの図書館」をコンセプトに、地域に開かれたたくろぎと学びの場を特徴として、誰もが利用できるようリニューアルする予定であるとのことでした。

討論として、「学校給食費の無償化、住宅リフォーム

助成制度の拡充、高齢者の交通費負担軽減など、市民要望の強い施策が反映されていないことから反対がありました。



プライバシーが守られている おくやみコーナー

**交差点付近の雑草を優先して除去**

《建設水道常任委員会》

道路維持管理事業における「雑草除去業務」及び「樹木伐採処分」を実施する箇所は、職員が現地を確認し、交差点付近や交通量が多い場所などを優先して対応している。

細街路整備事業における補助金交付の対象は、道路後退部分における分筆及び測量費用に対し上限30万円、ブロック塀等の除却が必要な場合は1mあたり5千円、また、角地に隅切りを設ける場合は固定資産税評価額の5分の1の金額を用地代として交付している。

早稲田公園プールでは、2年間のコロナ禍による休園を経て、令和4年度の開園にあたっては、午前・午後それぞれ250人までの入園規制を行った。規制の方法として、整理券を当日朝に現地で配付する形式だったため、システム導入により利用者の利便性の向上を

図りたい、とのことでした。そのほか、応急対策事業や通学路安全対策事業などについて審議しました。

最終結論を出す本会議では、各常任委員長から審査報告がなされ、討論・採決の結果、賛成多数で可決しました。



作業前



作業後

交差点における除草作業前後



論点

3月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案が、どのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

# 東埼玉消防指令業務 共同運用協議会を設置



3月定例会には、市長から18議案が提出され、原案通り可決しました。

3月定例会  
2/27~3/17

議案第8号 東埼玉消防指令業務  
共同運用協議会の設置について

〈内容〉越谷市、三郷市、吉川松伏消防組合、春日部市及び草加八潮消防組合において、複雑多様化する消防需要に広域的に対応し、さらに質の高い消防指令に関する事務を共同して管理し、及び執行することを目的とした東埼玉消防指令業務共同運用協議会を設置するものです。

▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

問 消防力の強化が見込まれるとのことだが具体的には。

答 消防力の強化については、指令管理を一元化することによって双方応援体制が強化されると考える。また、指令業務の人員が削減できることにより緊急対応する消防隊の人員に割り当てることのできる。状況によっては消防車と救急車を兼務する人員を専属化させることから消防力の強化や市民サービスの向上につながると考える。

問 これまでどう変わるのか。  
答 119番通報などを処理する

方法としては、これまでと同様となり、市民サービスの低下を招くことはない。指令台数が増えることにより、局地的な災害などの対応能力及び同時に入電した119番の処理件数が増加するというメリットがある。

委員会の討論では、「職員体制について、地域の実情に詳しい職員をセンターに派遣することによって救急対応に支障がないか懸念される。また、規約の会長職権限が人事や予算調整、決算に至るまでになっっていること、監査を実施する旨の文言がないことも不十分さが拭えないため反対がありました。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告しました。続いて討論・採決の結果、賛成多数で可決しました。





市政に対する

# 一般質問

— 質問議員 —

篠田 隆彦	田上 広子	西村寿美枝	宇治由紀子
佐々木 修	渡邊 雅人	一色 雄生	柳瀬 勝彦
鳴海 和美	佐藤 智仁	工藤智加子	深川 智加
加藤 英泉	菊名 裕		

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、3日間にわたり14人の議員が活発な論戦を展開しました。

※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

## 災害時における避難路の確保・避難行動等を学ぶ機会を



**議員** 近年の災害の激甚化、頻発化に伴い、災害発生前より早い段階から多くの居住者等の避難行動を促す必要性が高まっている。自然災害による被害を最小限に抑えるには、市民が災害について「知る」、口頭から「備える」、そして、いざという時に「行動すること」が重要である。そこで、災害時における避難路の確保や状況、及び避難所開設等の市民への情報発信について、また、避難行動等を学ぶ機会について伺う。

**危機管理監** 平常時の取り組みとして、各家庭や自主防災組織で、避

難所までの道を実際に歩き、危険箇所などの現状を確認し、発災時の状況に応じた複数のルートを想定する啓発を進めている。情報発信については、HP、メール、SNS、防災情報架電サービス等を活用している。市民が避難行動等を学ぶ機会として、現在、南部地域に建設を予定している防災コミュニティ施設で、防災について学べるよう整備を進めている。

**その他の質問** 公共施設について

## 地域福祉課題・

### 成年後見制度

**議員** 高齢夫婦のみの世帯や高齢単身世帯が増加するなか、障がいや認知症等により、物事に対する判断能力が充分ではないかたへの支援として、成年後見制度が大変重要になっている。しかし、厚生労働省が示すように、制度の利用者数が伸びていないことを踏まえ、周知方法、費用の助成、後見人の担い手の見直し等、早急に制度の整備を図る必要があると考えるが、現状と取り組みを伺う。

**福祉部長** 国の推計によると、令

和7年には65歳以上の高齢者の約5人に1人が認知症になるとされている。成年後見制度の利用状況としては、令和3年度の申し立て件数は29件、うち市長申し立ては2件だった。市では三郷市成年後見制度利用支援事業実施要綱を策定し、成年後見等を受ける住民税非課税または生活保護受給世帯を対象として、審判請求手数料等の助成を実施している。

今後は、さらに制度の周知に努め、市で行う養成研修を終えた市民後見人の活躍を支援するとともに、法人後見の立ち上げを推進していく。

**その他の質問** ギリシャとの提携問題。



## 不登校児童生徒の学習支援

**議員** 今、様々な背景と状況の中

で、孤立し孤独に悩む不登校児童生徒が増えている。誰一人取り残すことなく、また、切れ目なく教育の機会を保障し伴走していくために、タブレットを使ったオンライン学習を出席扱いとする制度や、成績評価ができる制度を検討すべきである。どうしても学校に登校できない児童生徒につながる「居場所」として、市が運営するオンライン教室を設置し、寄り添った学習支援をすることについて伺う。

**学校教育部長** 現在、各学校では不登校等の児童生徒や保護者と面談を行い、状況に応じて教室とは別の場所で学習したり、授業をオンラインで配信し、別室や家庭で学習できるよう対応している。市運営のオンライン教室は、児童生徒の状況に



あわせて学校の教室以外の場所や家庭等において学習支援を行えるという点で参考となる事例であるが、教員の指導時間の確保が課題となることも予想される。今後、不登校児童生徒の状況に応じた個別最適な学びの実現に向け、効果的なオンライン学習の研究に努めていく。

**その他の質問**

福祉問題など。

## 学校給食の安全性は

**議員**

日本は、食品の安全性において、発がんや神経毒が指摘されているトランス脂肪酸ほか添加物や農薬の基準が非常にゆるく問題となっている。また、近年、昆虫食を国

が推奨する動きがあり、地方のある高校でコオロギが給食で出された例や、食用コオロギ養殖工場稼働の話題が報道されている。コオロギは漢方医学では「微毒」で「妊婦に禁忌」とされており、食文化として根付いてこなかったうえに、養殖コオロギは遺伝子操作がなされている懸念もある。また甲殻類アレルギーの危険もあり、学校給食には微量であっても絶対に出すべきではない

と考えるが、これら給食の安全性についての見解は。

**学校教育部長**

文部科学省の基準をもとに、加工食品の安全性には十分に注意を払っている。昆虫食についても、成長期の子どもたちへの健康への配慮から市では導入の予定はない。今後も安全第一で食材の選定を行っていく。

**その他の質問**

健康問題など。

## ふるさと納税について

**議員**

令和3年度中、ふるさと納税を利用した市民は8,165人。他自治体への寄附金額は約6億5,970万円だった。一方、本市への寄附受入れ件数は1,066件、金額は約1,239万円だった。近年、本市への寄附件数や金額も増加しているが、同時に他自治体に寄附をすることで、本来、市民税として本市に納税されるはずが控除され、約6億5,970万円が減収となっている。企業版ふるさと納税の導入で、令和4年度は計400万円の寄附をいただいたが、新たな財源確保として、応援したいプロジェクトなどで寄附先を選ぶ「ガバメントクラ

ウドファンディング」を提案したい。これは、文化芸術、市民活動、環境、動物愛護など用途を明確にしたものに対するふるさと納税である。市民サービスの向上には財源確保が必要である。導入についてどの様に考えているか。

**財務部副部長**

「ガバメントクラウドファンディング」の特徴は、寄附の対象となる事業を明確にするとともに、短期で実現可能性の高い事業を実施し、寄附の使途が明確にされている点である。地方自治体の新たな資金調達方法として有効であると認識しており、引き続き、他市の事例を調査研究のうえ、検討を進めていく。



三郷市のふるさと納税返礼品



## 給食費の無償化について

**議員** 国からの臨時交付金を活用

し、昨年9月から本年3月まで行われた実質的な給食費の無償化を継続してほしいという声が多かったことは周知の通りである。給食費の無償化を恒常的な制度として市独自で実施するには予算面等の課題がいくつあるかと思うが、これまで給食費を保護者負担とする理由としてきた「学校給食法並びに同法施行令等の施行について」という通達で保護者が必ず負担しなければならないとするものではないと示されている。そのため、段階的にも無償化を進めていくべきと考えるが、そうした選択肢も含



三郷市の学校給食

めて市長の見解は。

**市長**

今回時限的に実施した給食費の無償化事業を市として通年で実施する為にはかなりの財源が必要となる等の課題がある。令和5年度に関しては食材費の高騰分を市が負担することで子育て世帯の経済的な負担軽減を図るが、今後については国や県の動向を注視しながら検討していく。

## 市役所職員の存在率とふるさと納税の可能性

**議員**

①市民に「魅力」を発信している市職員が、市にどれだけ魅力を感じているか。市職員の市内在住率と市職員から見た三郷市の暮らしやすさは。②ふるさと納税について、現状と今後の取り組みは。

**総務部長**

①市職員の市内在住率は、10年前は53%、現在は43%と減少傾向にある。しかし近年では、魅力ある三郷市で働きたいと、市外から応募してきた新入職員が多数在籍している。今後も職員を含め、多くの人を選ばれる魅力的なまちづくりの実現のため、社会情勢の変化や多様な住民ニーズに対応できる職員の採用・育成に努めていく。

**市民経済部長**

②ふるさと納税の返礼品として、市の地場産品である食品類、製造品類、訪問・体験類など、全68品目を用意しており、送付実績は昨年度の1,058件から令和5年2月末現在で2,155件と、約2倍になっている。今後も、ふるさと納税の返礼品を広くPRするとともに、新たな返礼品を拡充することにより、地場産業の活性化や市の魅力発信へと繋げていく。

**その他の質問**

行政問題について

## 生まれつき障がいのある子どもへの母子健康手帳の配慮

**議員**

厚生労働省で実施している母子健康手帳(以下、手帳)に関する検討会では、スペシャルニーズの子どもについて、発達障害を持つ親子ほど親子の関係性に気を遣う必要があるため、評価だけでなく、支えていく手帳になるとよい。スペシャルニーズの子どもは月数と合わない発達になってくるため、日付や月齢を記入できるとよいのではないか。

また、親自身にハンディキャップがある場合には支援者が記入することも想定しておくことが必要など



外国語版の母子健康手帳

の意見が出されている。双子や多胎児、ダウン症児、発達障害の子ども向け、外国人向けの母国語で記載してある手帳など、多様なかたに対応するため、基本の手帳プラスアルファを配布することも検討されている。

**子ども未来部長**

①生まれつき障がいのある子ども等に対しては、画一的な対応ではなく、ご家族の気持ちに配慮した対応をしていく。②市では計9か国語に対応する手帳を用意している。低体重児については、「埼玉県リトルベビーハンドブック」が本年3月に公開されることから、市の子育て支援情報等を追加し、令和5年度から配布を開始する。

**その他の質問**

学校教育問題など。

## AYA世代がん患者への

### 在宅支援

#### 議員

終末期のがん患者が在宅で支援を受ける場合、40歳以上は介護保険が使える、20歳未満なら小児慢性特定疾病制度が使える。しかし、この間のAYA世代(思春期から40歳未満を指す)は、在宅療養を支援する制度が整備されていない。厚生労働省によると、AYA世代のがん患者の6割以上が終末期の在宅療養を希望している。在宅での生活を希望されるかたが安心して家庭で療養するために、支援制度の設置について伺う。

#### 子ども未来部長

現在、AYA世代とされるがん患者に対しては、支援を行う制度はほぼ無い状況である。



。埼玉県では、令和5年度「小児・AYA世代の終末期がん患者の在宅医療体制の整備」として、小児・AYA世代のがん患者が希望する場所で終末期を送ることが可能な在宅医療体制の構築に向け、新たに事業を実施する予定である。今後は、県の動向を注視し、調査・研究していく。

#### その他の質問

防犯問題など。

## アフターコロナ対策を

#### 議員

新型コロナウイルスは、2019年12月頃から発症が確認され、現在でも猛威をふるっている。この間、行政は感染予防対策に努めてきたが、今後は普通の暮らしができるよう努めていくことが必要である。現在、感染対策として注目されているのが京都府立大学におけるダチヨウの研究であり、SARSやインフルエンザウイルス等の感染症状やアトピー性皮膚炎予防に寄与できるワクチン生成に繋がっている。国内でのワクチン製造が進めば、防災としての観点からも自治体強化に繋がっていくと思われるが、今後も続くであろう新たな感

染症へのアフターコロナ対策について伺う。

#### 危機管理監

これまで市を挙げて感染拡大防止及び感染者への支援に取り組んできた。今後も感染症を含めたあらゆる危機に対して、国や県、その他関連機関と連携し、市民の安心・安全を確保するため対応していく。

#### 市民経済部長

ダチヨウに関する事業は、タマゴによるワクチン生成等、様々な事業展開による可能性を秘めてはいるが、全国的に事例が少なく、課題も多いものと考えている。今後も事業者及び関係商工団体等への各種支援を進めるとともに、産業振興の活性化に繋がる情報の周知に努めていく。

#### スポーツ健康部長

今後、新たな感染症が発生した際に迅速に対応ができるよう、これまでの経験を活かし、関係機関とも連携を図りながら、適切に対応していく。

#### その他の質問

交通問題など。

## 就学援助制度の充実を

#### 議員

就学援助制度は、義務教育を無償とした憲法26条などに基

き、小中学生のいる家庭に学用品や入学準備金などを補助する制度で、生活保護基準に該当する「要保護者」と、市町村がそれぞれの基準で認定する「準要保護者」に対して行われる。「準要保護者」について、概ね世帯収入を認定基準としているが、本市は低く抑えられているため対象が他市に比べ限られている。

①利用できる児童生徒を拡充するために、認定基準額の引き上げが必要だと考えるが、市の見解は。②クラブ活動費、生徒会費、PTA会費が新たな給付対象になっているが、本市では対象費目に入っていない。対象を追加し、お金の心配がなく学べる環境を保障することが自治体の役割だと考えるが、市の対応は。

#### 市長

①他の社会保障制度や近隣自治体の状況を見守り、教育委員会とも調整を図りながら、適切に判断していきたい。

#### 学校教育部長

②市では学用品費、新入学用品費、学校給食費、修学旅行費などを支給しているところであり、項目の拡充については、広い視野を持って、調査・研究していく。

#### その他の質問

新型コロナウイルス感染症対策についてなど。

## 住宅リフォーム

### 補助制度の拡充を

**議員** 地元業者に発注する条件で、住宅リフォーム費用に補助をおこなう「住宅リフォーム補助制度」は、地域経済活性化策として多くの自治体で導入されている。市民からも、住環境が改善されると喜ばれている制度である。しかし、本市は、耐震改修工事に付随するリフォームのみを対象とし、市内業者の限定はないため、コロナ危機、物価資材の高騰、インボイス制度の導入予定から廃業の危機に立たされている。地域経済効果の高い住宅リフォーム制度の拡充として、市内業者に限定した住宅リフォームのみの工事にも補助を求めるが考えは。

**市長** 市内には依然として旧耐震基準の住宅が数多く存在している



ことから、地震による被害を軽減し、市民の身体及び財産を保護するため耐震改修の促進は優先すべき施策であると考えている。今後も耐震改修工事に付随するリフォーム補助事業を実施し住宅耐震化の促進を図っていく。

### その他の質問

市内公共交通問題など。

## 幼児教室

### 「風の子園」の再生

**議員** 12月議会において、盛況のうち運営されていて、インクルーシブの保育・教育を実践し、保育・教育のあり方を先取りした多様性のある幼児教室「風の子園」を令和7年度で閉園するという答弁があった。誰一人取り残さない社会の形成が問われている中、社会の変化に的確に対応していく施策の展開、質の高い教育と切れ目ない子育て支援の強化を謳う市長方針がある中で、この閉園という判断に違和感を覚えるし、これに三郷市民がほほえむでしょう。市民目線、市民感覚、市民本位の行政といながらも視点・観点がズレが生じているのではないかと。三郷市の沽券に関わると思

うので、頑なにならず、改めて柔軟な判断を再度求めたい。

**市長** 「風の子園」は、昭和50年代、市の人口急増期に幼稚園待機児童の解消を目的として開設した幼稚園類似施設であり、市も、施設用地や建物の貸与、補助金交付等により支援してきた。しかし、開設当初の幼稚園不足は改善され、多額の公費を投じて「風の子園」の建て替えや大規模修繕、移転建設を行うことは困難と考えている。「風の子園」においては、民営化による自立に向けた協議が進められていると聞き及んでおり、市も、民間事業者を対象とした国、県等による支援制度について情報提供している。今後も、「質の高い教育と切れ目ない子育て支援の強化」を推進していく。

### その他の質問

不登校問題。

## 戸ヶ崎地区の公共交通

**議員** 戸ヶ崎の一部地域から市役所や斎場をはじめとする市の施設に出向ける公共バスを含む移動手段の確保は、切実な要望であり、議会を通じ10年間訴えてきた。しかし、質問に対する答弁は「検討する」

などの繰り返しに終始し、要望に対し市長より示されている「スピード感」を持った対応は未だに成されていない。彦成地区では補助金を用意し、バス路線の確保を実現させている。このスピード感の違いは、また、市民の税負担の観点からも、一方は、2億5千万円、もう一方は、アンケート費用と大きな差があり、税の還元による公平性にも偏りがある理由は。

**市長** 両地区の違いについては、彦成地区では、完全に消滅してしまう路線バスを緊急に維持した点と、戸ヶ崎地区では、路線バスの利用環境を改善する点にあり、双方の路線バスが抱える地域課題の性質が異なっているためである。

### その他の質問

人口問題など。



戸ヶ崎地区の公共交通の充実を

# 3月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○=賛成 ×=反対

号	件名	結果	政志会	21世紀クラブ	公明党	日本共産党	ネットワークみらい	みんなのみさと
市長提出議案	1 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○
	2 三郷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
	3 三郷市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	4 こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	5 三郷市地域型保育事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	6 三郷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	7 三郷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	8 東埼玉消防指令業務共同運用協議会の設置について	可決	○	○	○	×	○	○
	9 令和4年度三郷市一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	○	○
	10 令和4年度三郷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○
	11 令和5年度三郷市一般会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
	12 令和5年度三郷市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
	13 令和5年度三郷市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
	14 令和5年度三郷市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
	15 令和5年度三郷市上水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○
	16 令和5年度三郷市公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○ <sup>5</sup> × <sup>1</sup>	○	×	○	○
	17 副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
	18 市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
諮問	1 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	19 三郷市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	20 認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
	21 新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取り組みの強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
22 子育て施策に対する国の支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	
請願	1 学校給食費の無償化継続に関する請願書	不採択	×	○	×	○	○	○

※議長は採決に加わっていません。  
 ※このほか陳情1件、要望4件がありました。

会派名(人数)	所属議員名
政志会(8)	武居 弘治(議長)、篠田 正巳、佐藤 裕之、佐々木 修、田上 広子、篠田 隆彦、齊藤 幹郎、寺沢 美紗
21世紀クラブ(6)	菊名 裕、岡庭 明、加藤 英泉、柳瀬 勝彦、渡邊 雅人、一色 雄生
公明党(5)	酒巻 宗一、鈴木 深太郎、佐藤 睦郎、鳴海 和美、西村 寿美枝
日本共産党(3)	工藤 智加子、佐藤 智仁、深川 智加
ネットワークみらい(1)	市川 文雄
みんなのみさと(1)	宇治 由紀子



**【他市からの行政視察がありました】**

- 「日本一の読書のまち推進事業」及び「自主防災組織の取り組み」について…1月16日に島根県益田市議会総務文教委員会。
- 「インクルーシブ公園の整備」について…1月23日に静岡県藤枝市議会建設経済環境委員会。
- 「日本一の読書のまち推進事業」について…2月2日に福島県二本松市議会文教福祉常任委員会。

**【視察研修を行いました】**

- 「公明党」…1月17日に静岡県菊川市市民協働センターの「市民協働センターの賑わいづくり事業」について、18日に兵庫県川西市の「キセラ川西低炭素まちづくり事業」、「こども・若者ステーション事業」について、19日に公益財団法人京都市ユースサービス協会の「ユースサービス事業」について。
- 「政志会」…1月30日、香川県小豆島町の「小豆島オリーブトップワンプロジェクト」、小豆島国際友好協会の「ミロス島姉妹島提携」について、31日、香川県東かがわ市の「東かがわの廃校利用」について、2月1日、高松丸亀町商店街振興組合（香川県高松市）の「高松丸亀町商店街再開発事業」について。

**【常任委員会の名称が変わりました】**

- 3月定例会に提出された議案第19号が可決され、「市民福祉常任委員会」の名称が4月1日から「健康福祉常任委員会」へ変更となりました。

**請 願**

市民要望としての請願が3月定例会に1件提出されました。結果をお知らせします

請願第1号

学校給食費の無償化継続に関する請願書

請願者

三郷社会保障推進協議会

会長 水脇 照人 氏

審議結果 不採択

**人 事 案 件**

○副市長として選任することに同意しました。

**◎新渡辺 健氏（鷹野四丁目）**

○人権擁護委員を適任としました。

**◎再白石 匡子氏（戸ヶ崎三丁目）**

▼人権擁護委員とは

市長により推薦され、法務大臣から委嘱を受け、人権相談を受けたり、人権啓発活動を行っています。

**【議会の詳細は「会議録」で】**

三郷市議会ホームページまたは、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお、3月定例会の会議録は5月下旬に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開…閉会から1か月を目安に、ホームページにてPDF形式で公開していますのでご覧ください。

URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/misato/SpTop.html>

三郷市議会 会議録

検索



# 国・政府に要望

3月定例会では3件の意見書を提出しました。

議案第20号 認知症の人も家族も  
安心な社会の構築を求める意見書

## (要望事項)

1. 認知症の人に初期の段階から、家族や周囲の人々が、適切に対応するための、認知症サポーター等の育成促進や、身近な薬局や介護施設等への相談窓口の開設を支援すること。

2. 認知症の重症化抑制や認知機能の維持のための、当事者や家族との連携を重視しながらの、薬や対処法等の研究開発体制を強化すること。

3. 認知症グループホームへの低所得者や圏域外の人々も含めた入所の仕組みづくりなど、認知症の人と家族に寄り添う制度を整備すること。

4. 認知症のリスク低減につながる、生活習慣や栄養補給など、国民の日常をサポートする、知識や情報を提供する体制を整備す

ること。

5. 認知症に対する施策を、国と地域が一体となつて、総合的かつ総体的に推進するための、「(仮称)認知症基本法」を整備すること。



議案第21号 新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取り組みの強化を求める意見書

## (要望事項)

1. 新型コロナウイルス感染症の後遺症の発生状況について、非常に近い症状の筋痛性脳脊髄炎／

慢性疲労症候群(ME/CFS)との関連も含めた、実態調査を推進すること。

2. 一部医療機関で実施されている、Bスポット療法(EAT)・上咽頭擦過療法等の検証を進めるとともに、療法の標準化により、後遺症に対応できる医療機関や相談窓口を拡充すること。

3. 自己免疫疾患との関連など、新型コロナウイルス感染症による後遺症の原因究明と新たな治療法の確立に向けた研究予算を確保すること。

## 「意見書」とは…

公益にかかわることについて、議会が意思決定機関として意見をまとめ、議決し、国等の関係機関へ「意見書」として要望などをすることです。



議案第22号 子育て施策に対する国の支援を求める意見書

## (要望事項)

1. 義務教育における給食費無償化が実施できるよう地方自治体を支援する補助金制度を創設すること。

2. 高校卒業までの子ども医療費無償化が実施できるよう地方自治体を支援する補助金制度を創設すること。

3. 切れ目のない子育て支援が実施できるよう地方自治体の体制づくりを支援すること。



# 議会を傍聴しませんか

議会傍聴は議会活動に触れることができる最も身近な方法です。市政への理解を深めていただくためにも傍聴をしてみませんか。

※傍聴の際に手話通訳または要約筆記を希望されるかたは、傍聴希望日のおおむね14日前までに議会事務局までお申し込みください。

問い合わせ 議会事務局 ☎ 048(930)7768  
FAX048(953)1358



手話通訳・要約筆記により傍聴する様子

## ..... 傍聴のルール .....

- (1)騒ぎ立てたり、拍手をするなど可否を表明したり、迷惑となるような行為をしないでください。
- (2)みだりに立ち上がるなど、威圧的な行為をしないでください。
- (3)携帯電話・カメラ・録音機等の電源はお切りください。
- (4)飲食または喫煙をしないでください。
- (5)その他、議場の秩序を乱し、または会議の妨害となるような行為をしないでください。

※傍聴されるかたは、議長、係員の指示に従ってください。

## ..... 傍聴 Q&A .....

### Q. 議会はいつ傍聴できますか。

A. 議会は3月・6月・9月・12月に開催されます。  
詳しい日程は議会事務局にお問い合わせください。

### Q. 議会を傍聴したいのですが、どのような手続きをするのですか。

A. 本会議は原則として、どなたでも傍聴ができます。  
通常は午前10時から会議が開かれますので、7階傍聴席入口で氏名・住所を記入してから傍聴してください。なお、委員会の傍聴は委員長長の許可が必要となり、6階議会事務局で受付します。

### Q. 子どもと一緒に傍聴したいのですが。

A. お子さんの傍聴も可能ですが、小さなお子さんは保護者の同伴が必要です。

### Q. 車椅子でも、議会の傍聴はできますか。

A. 車椅子のかたのためのスペース（3席）があります。

## 令和5年6月定例会の予定表

月日	曜日	会議別
5/29	月	本会議 (議案説明・ 質疑など)
5/31	水	
6/1	木	委員会
6/6	火	本会議 (議案採決・ 一般質問など)
6/7	水	
6/8	木	
6/9	金	

※正式には、市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

次回の6月定例会は5月29日(月)午前10時に開会予定です。



### 休日の診療所設立を

主婦 70代 彦成3丁目在住

三郷（みさと団地）に住んで、早や49年になります。かつては病院も少なく、赤子を連れて金町まで満員バスで眼科に通い、とても辛かった思い出があります。

今年2月の土曜日の午後、コロナ禍で習慣になった体温測定をしたところ37.5℃の熱がありショック！病院は休みで、ドラッグストアに連絡して抗原検査キットを夫に買ってきてもらい、検査で陰性となり一安心でしたが、月曜日に病院でPCR検査を、と連絡したら断られてしまいました。ふと、別の病院を思い出して電話をすると、受け入れていただき、検査結果は陰性。ようやく安堵しました。

ここまで発展した三郷市ですが、土日・祝日に体調を崩したときも、安心して診ていただける感染症に対応した診療所を作ってほしいです。よろしくお願い致します。

### 自分らしい選択ができる街へ

女性 30代 三郷1丁目在住

息子と中学の入学説明会に行った。

制服はLGBTQの概念から選択ができるという説明があった。

しかしその中学校は詰襟とセーラー服の2種類しか選べないし髪型も男女別に決まりがある。

LGBTQに配慮といっても、ハードルが高いと感じた。

いずれは男女共通のブレザーになったり、スラックスやネクタイ、リボンなどを選べる日が来ると期待したい。

そして選択した人=LGBTQだからではなく、その格好が好きだから、楽だからなどの理由づけができるようにしてほしい。選択しづらかったら意味がない。



コミミズクはフクロウ科の中型の渡り鳥で、シベリアなどから飛来し、11月頃から3月頃まで全国の河川敷等で見られます。

江戸川の河川敷にもその姿を見せ、観察や撮影を楽しむ愛鳥家の方々が数多く訪れていました。

フクロウは、とても縁起の良い鳥とされています。

